

上越教育大学

特別支援教育実践研究センター

Research and Praxis Center for Special Needs Education

上越教育大学特別支援教育センターとは

上越教育大学特別支援教育実践研究センターは、特別支援教育における実践的な研究及びその研究の推進を図るとともに、特別支援教育諸学校の教員の研修を行うことを目的とし、特別支援教育に関する教育臨床や教材開発を通じて、大学院生の実践的指導力の向上を図るとともに、教育相談や指導者研修により、地域の教育・福祉に資することを目的として、昭和62年に発足し、平成4年4月に現施設が建設されました。

本学発達支援教育実践研究コース特別支援教育領域には、大学院専門職学位課程（教職大学院）があり、実践に役立つ高度な指導力を持った教員の養成をめざしています。そのために実践的、臨床的な経験を積み重ね、それを科学的に分析し、検討するためのカリキュラムが用意されています。

当センターは、このような発達支援教育実践研究コース特別支援教育領域の独創的なカリキュラムを活かし、実践的な教育と研究の推進を図り、地域の教育・福祉の要請に応える研修を行っています。

キャンパスマップ



- えちごトキめき鉄道「高田駅」下車。
高田駅近くの本町6丁目停留所から教育大学線に乗車（約15分）、「教育大学」下車。
- えちごトキめき鉄道・信越本線「直江津駅」下車。直江津駅前停留所から教育大学線に乗車（約20分）、「教育大学」下車。
- 特別支援教育実践研究センター入口に、駐車スペースがあります。

上越教育大学特別支援教育実践研究センター

〒943-8512 新潟県上越市山麓敷町1番地 TEL/025-521-3672 FAX/025-521-3677

センターの機能と役割

教育 大学院において特別支援教育を専攻する院生に対して、実践的指導力を養成するためのフィールドワークなどの授業の場です。地域の視覚障害、聴覚障害、知的障害、自閉症、肢体不自由、病弱、重度・重複障害、言語障害、発達障害など、さまざまな教育的ニーズのある子どもたちの教育相談に対応しています。



臨床実習の準備



特別支援教育 観察・参加



知的障害教育課程・指導法

研究 教育臨床実習や地域支援活動に関連して、特別支援教育の学校現場に直結する実践的・臨床的研究を行っています。最新の行動解析装置を使って、子どもたちの行動や指導の様子を記録・分析し、実践や研究を行っています。



行動解析装置



臨床場面の分析



センターセミナー

社会貢献 特別支援教育において地域社会への貢献を推進するため、年1～2回、国内外の著名な研究者や実践家を講師に招いた公開センターセミナーを実施しています。また、附属幼稚園・小学校・中学校及び地域の学校、保育所・障害児者施設等の福祉機関、医療機関との連携を行っています。

特徴

- **発達支援教育実践研究コース特別支援教育領域との一体的運営** 発達支援教育実践研究コース特別支援教育領域と連携し、一体的運営を行っています。
- **附属学校・園及び地域の諸機関との連携** 特別支援教育において地域社会への貢献を推進するために、附属幼稚園・小学校・中学校及び地域の学校、保育所・障害児者施設等の福祉機関、医療機関との連携を行っています。

教育相談の受付

- 相談の申し込みは電話で受付けています。
電話番号/025-521-3672 (センター事務室)
受付日/月～金 受付時間/10:00～16:00 (12:00～13:00を除く)
- 教育相談の申し込みは、お電話のみとなっております。
- お申し込みの際にお伝えいただく内容について、センターHPをご確認の上ご連絡ください。



<http://www.juen.ac.jp/handic/>